令和２年５月１日

学年通信（１学年）

新型コロナウイルス感染拡大にともなう休校再延長の中、生徒諸君も保護者の方も今後の生活について不安が大きいことと思います。１学年としましても、入学式とその後の数回の登校日で徐々に生徒のことが分かりかけている一方で、私たち自身も経験したことがない状況に対応するのが精一杯の毎日を過ごしています。

そこで、今日から５月に入り、来週からは登校日だけでなく、本格的な「特別時間割（自宅学習）」が始まるこのタイミングで、学年通信を出すことにしました。ただし、気ままに（気まぐれに）発行しますので、名称も決めていませんし、「第●号」という記載もしません。学校に来られない今、西高１学年が少しでも情報を共有したり、思いを馳せたり（遠い存在や距離的に離れている人や物事について、想像し思いを募らせること）する機会になることを願っています。学校が再開したら、あとは直接、授業（全クラス教えます）や学年集会で伝えていきますので、それまで何回か発信します。

まずは、去年の今日を覚えていますか？約３０年間の「平成」が終わり、新しい元号に変わった日です。国内外でお祝いムードが高まり、新しい時代が始まる希望に満ちあふれていたのではないでしょうか？ところが、今年の５月１日は、ＧＷ中であるにも関わらず「ステイ・ホーム」が叫ばれ、日々のニュースで感染者数が発表されるごとに、いつ自分が感染してしまうか（感染させてしまうか）不安な時を過ごしていることと思います。「このピンチをチャンスに…」と口で言うのは簡単ですが、やはり「ピンチはピンチ」です。まずは、ピンチだということを冷静に受け止め、何がピンチなのか、このピンチをどうすれば人生の糧にすることができるのかを、しっかり自分の頭の中で考えましょう。

私は、本当のピンチは感染拡大をどう抑えるかという「今」であり、同様にコロナ禍が収束して学校が再開した「その後」だと考えています。これだけ長い「休み」を経験したことは人生の中でないでしょう。私たちだって同じです。「休み」ながらも勉強や読書、趣味、家の手伝いなどにしっかり取り組んでいると思いますが、やはりスマートフォンやゲームに熱中しすぎたり、睡眠など生活リズムが崩れたりしてしまったのではないでしょうか？今までは生活の中に当たり前に存在した「学校という柱」が長い間なくなり、再びそれが始まった後に、今までは感じなかった息苦しさや煩わしさ（人間関係や学習の大変さ、通学すること自体の面倒くささ…等）に違和感を覚えるかもしれません。顔を合わせない「今」も心配ですが、「その後」のこともやはり心配しています。だからこそ、来週から始まる「特別時間割」を計画的・主体的に取り組んで、必ず始まる高校生活に向けて、本格的に準備してほしいと考えています。

絵も写真もない味気ない学年通信となりましたが、「今」の気持ちをメッセージにしました。では、次に会えることを楽しみにしています。

１学年主任　横手文彦